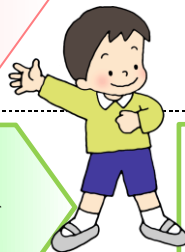
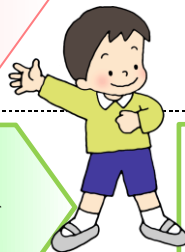


学校教育目標

高い志をもち 夢の実現に向けて 自分らしく 他者とともに社会を創る児童の育成

めざす子ども像

共に学びあい、高まりあう子ども おもいやりのある子ども 考えを深める子ども いつも明るく元気な子ども チャレンジする子ども

月		○入学当初の児童の姿	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
育ってほしい児童の姿	人とかかわる力		・新しく出会う友達や先生に親しみをもち、関わろうとする。 ・決められた場面での挨拶ができる。 	・大きな声で挨拶をしたり返事をしたりすることができる。 ・友だちの頑張りを認めたり、よさを見つけたりする。 ・自分から友達に話しかけたり、何をしたらよいのかを考えたりする。	・レベル5のあいさつができるように取り組む。 ・相手の気持ちを考えて関わったり自分が役に立つ喜びを感じたりする。										
	思考力		・自分が経験したことや思ったことを話す。 ・困っていることを周囲の人に伝える。 ・はっきりと自分の名前や好きなものを話す。 ・友だちの話に対して興味を持って聞く。 	・気付いたことや疑問に思ったことなどを、聞き手を意識して、分かりやすく話す。また、友だちの話を反応しながら聞く。 ・自分がしたことや気付いたことを分かりやすく話したり、質問に答えたりする。友だちの話を聞いて、良さに気付いて感想を伝えたり、質問したりする。	・目的や意図に応じて自分の考えを自分の言葉でわかりやすくまとめ、伝わるように表現する。 ・他者と考えや意見を出し合ったり他者の考えを受け入れたりしながら、課題を解決する。										
	生きる力（自立）		・学校生活のリズムに慣れる。 ・自分の経験をもとに、学校のルールやマナーを確認し、実行しようとしている。 	・学校生活のリズムに慣れ、授業の始まりに遅れないで着席する。 ・約束やルールを守ろうとする。 ・自分のめあてを考え、それを守ろうとする。	・学校生活の約束やルールを守って行動する。 ・自分で考えて進んで行動する。										
生活科を中心とした単元構成	大単元「がっこう だいはいっけん」		大単元「しぜん・ともだち 大はっけん」		大単元「大きくなった じぶんの 大はっけん」										
	生活科「がっこう だいすき～がっこうたんけん～」 ○学校にある施設を探検する。 ○場にに合わせて挨拶をしたり、知りたいことを尋ねたりする。 ○探検で発見したことを伝え合う。 国語科「どうぞよろしく」 ○自分の名前やすきなものを伝える。 特別活動「十日市小の生活のきまりを知ろう・みんななかよくしよう」 ○ゲーム等を通して、友だちとふれ合う。 ○施設の使い方に慣れる。 算数科「10までのかず」 ○友だちや教室にある物の数を数える。 音楽科「うたっておどってなかよくなろう」 ○学校の校歌に親しむ。 ○いろいろな歌を楽しむ。 体育科「体づくり運動・走・跳の運動遊び」 ○グランドの遊具を使って運動する。 ○おいかけごっこ等の遊びを通して友だちと親しむ。		生活科「なつがやってきた」「いきものとなかよし」 ○親水公園を探検する。 ○探検で発見したことを伝え合ったり、記録カードに書いたりする。 国語科「すきなこと、なあに」 ○好きなことを書いて知らせる。 国語科「としょかんとなかよし」 ○読みたい本を選んで読み、好きなところを紹介する。 国語科「こんなことがあったよ」 ○自分の体験をしたことを思い出し、文章を書き、友達と読み合い感想を言い合う。 音楽科「はくにのってりずむをうとう」 ○友だちの名前を呼ぶ。 ○体を動かして友達と触れ合う。 体育科「みずあそび」 ○きまりをまもり楽しく学習する。		生活科「もうすぐ2ねんせい」 ○1年間を振り返る。 ○新しい1年生のためにできることを考える。 ○6年生に感謝の気持ちを伝える。 国語科「いいこといっぱい、1年生」 ○経験したことを思い出して文章を書く。										
	(環境構成を含む) 指導上の配慮事項		・登校時から1時間目までの時間をゆったりと過ごせるような時間設定にする。 ・幼児期に親しんだ遊び、歌、ゲームなどの活動を取り入れ、学びやすい環境づくりをする。 ・活動を通して、がんばっている姿や友だちと協力している姿などに対して価値付けの評価を行い、自信を持たせる。 ・トイレの使い方、片付けの仕方、ランドセルの片付け方など、全ての児童が分かるように絵や写真を活用する。 ・挨拶や声かけを大切にし、習慣化させるとともに、児童がお互いに挨拶や声かけができ、進んで友達と関わる学級づくりを進めていく。(健康観察・自己紹介・当番活動・配り物・集団遊び 他) ・声を出して表現することを大切にした指導を行う。(音読 等) ・時間で行動する生活に慣れさせる。(モジュール化した授業を取り入れる。)		・運動会や十小こども文化祭等の行事への取組を通して、達成感を味わわせ自信を持たせる。 ・他学年(特に6年生)の児童との関係をつくる。(歓迎遠足・入学お祝いの似顔絵・給食準備・掃除 等) ・給食・掃除・係活動を自分たちのために積極的に行う。 ・一日の流れや次時の学習の準備が視覚的にわかるようにする。		・班づくりを行い、小集団で自分の考えや活動を積極的に行う。 ・夏休み明けにスムーズに学校生活が送れるように思い出を話したり活動を多くしたりする。 ・活動を通して、がんばっている姿や友だちと協力している姿などに対して価値付けの評価を行い、自信を持たせる。		・新1年生を迎える準備を通して、進級への喜びや自覚を持たせる。 ・6年生への感謝の気持ちを行動や「6年生を送る会」などで表す。 ・自分の成長や友達の成長を共に喜ぶ合う活動を行う。 ・全職員の共通理解を図り、来年度への協力体制を整える。 ・2月の入学説明会では5年生と新入児の交流を行う。						
家庭・園・地域との連携	・園・所の先生方に授業の様子を参観していただく時間を設定し、子どもの姿を交流する。 ・朝の過ごし方、学校での様子について通信等で発信し、情報を共有していく。 ・家庭と学校で連携して、家庭学習に取り組む。(音読・計算カード・プリント等) ・PTA総会や学級懇談会等でスタートカリキュラムについて説明し、保護者の方に安心感を持ってもらう。 ・行事や学習活動のねらいを保護者や地域の方に伝え、多くの人と関わりながら活動できるようにする。		・学年通信や学級通信で、子どもたちの様子やがんばりを伝え、家庭でしっかり褒めてもらう。 ・自分でできる仕事を見つけ、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。		・教職員による来年度入学予定の園・所児の様子を参観させてもらう。(7月～8月) ・十日市保育所をはじめ近隣の保育園や幼稚園の新入学児童が2月に1年生の授業の様子を見学する。		・学級通信等で子どもたちの成長を伝え、家庭でしっかり認めてもらう。 ・入学説明会で、登校班、児童集団下校・スタートカリキュラム等の紹介をし、安心感を持ってもらう。 ・園・所の先生方と来年度入学予定の園・所児の样子的引き継ぎを行う。								